2022
8
No.721
令和４年８月１日

広報 かるいざわ

新鳥井原橋が開通しました！

主な内容

新型コロナワクチン接種をご検討ください ……P７
夏期におけるごみの出し方 ……P10
介護予防の取り組み ～軽井沢で自立して住み続けるために～ ……P18・19
教育委員会だより ……P28

新型コロナウイルスの感染状況等により、記事中のイベント等が中止や延期になる場合があります。

毎月１日発行　軽井沢町　〒389-0192　☎0267-45-8111　ファックス 46-3165
ホームページアドレス　https://www.town.karuizawa.lg.jp/

軽井沢病院からのお知らせ

《病院職員募集》

●随時採用

【常勤医師】

募集人員　若干名

※その他詳しい条件等については、問い合わせてください。

【正職員】

募集職種　看護師

募集人員　若干名

募集要件　資格を有する方

採用年月日　令和5年4月1日

※その他詳しい条件等については、問い合わせてください。

【会計年度任用職員】

募集職種　診療放射線技師

看護助手

（介護福祉士、介護職員初任者研修修了者またはヘルパー2級資格取得者）

募集人員　各若干名

募集要件　各資格を有する方

※診療放射線技師は平日・土休日の待機勤務のできる方

募集期限　8月10日㈬まで

休暇　任用期間に応じて20日の有給休暇の付与があります。

給料（月額）

・診療放射線技師（短大3卒）188、500円から

・看護助手　151、500円から189、300円まで

各種手当　通勤手当、時間外勤務手当、期末手当、退職手当（対象条件あり）、特殊勤務手当

※配属先により勤務時間が異なります。

※その他詳しい条件等については、問い合わせてください。

【問い合わせ】軽井沢病院　☎45-5111

対話がひらく未来　第4回

稲葉俊郎（軽井沢病院長）
森　憲之（総合政策課長）

対話がひらく未来に関するページはこちら

稲葉：今回は総合政策課長の森憲之さんとの対話です。まちづくりと「屋根のない病院」のイメージを共有したいです。

森：軽井沢グランドデザインを進めることで、まちづくりに対するこれまでの短期的な視点から長期的な視点となり、住民が同じ方向の未来を考える様に変化してきたと思います。軽井沢の自然保護対策要綱は50年目になりますが、罰則で人を縛らない「お願い」が定着していること自体が財産です。

稲葉：軽井沢のそうした見えざる前提は、水や空気に感謝しないことと似ています。前提が失われると初めてその価値に気づく。健康と病気の関係も似ています。

森：風土自治の場が、住民の要望を受けるだけの場になると「自治」からずれてしまいます。住んでいる人たちが、自分たちで地域の事を考えるために対話を重ねて合意形成へと進む。行政はあくまでもその手助けの立場です。風土自治は、住民の皆さんに「自らのふるさとを自らの責任で守る」という意識が定着していくことで、少しずつ形になると思います。

稲葉：共助や互助の地盤を失わないよう、間をつなぐ互助の場にとどまるバランス感覚が必要です。現代社会で互助の可能性は、病院や学校、神社仏閣、温泉や銭湯、畑や田んぼ、山や森、そして劇場や寄席などの文化空間だと思います。軽井沢病院祭の「屋根のない病院プロジェクト」も、未来の互助の場をイメージして福祉やアートを巻き込む形で進めています。

森：共助・互助でいくと、軽井沢22世紀風土フォーラムの取り組みがまさにそういう位置づけです。

稲葉：共助の中で、お互いは敵ではなくて仲間である、という理解が大前提です。敵だと思うと、人はどんなひどいことを言っても平気になり、殺伐としたクレーム社会になります。

森：風土フォーラムの取り組みでは、「100年後の未来なんて考えたことない」という正直な話から始まります。ただ、ここにいる人が誰もいない未来を考えることを共有すること自体が大事だと思います。動きは遅いかもしれませんが、考える時間が必要です。差し迫った危機感がないと人はすぐに動かない面もありますが。

稲葉：去年と同じことを今年も続け、場に流されるとうまくいっていた時代ではないですね。短期思考ではなく長期思考こそが大事で、風土フォーラムで掲げる100年単位のイメージは重要な意義があります。

森：対話の場も、自治的な形で出来るといいですね。

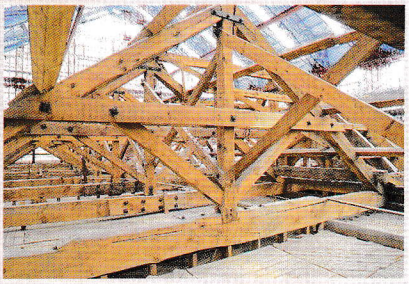
稲葉：フィンランドは34歳の女性が首相になれる国です。そうしたことが実現する仕組みが素晴らしいです。マリン首相（フィンランド）は「社会の強さは、最も豊かな人たちが持つ富の多さではなく、最も脆弱な立場の人たちの幸福によって測られます。誰もが快適で、尊厳のある人生を送る機会があるかどうかを問わなければなりません」と述べています。素晴らしい取り組みは世界中にあり、そうした実践や挑戦を学び続ける必要があります。希望こそが未来の種です。

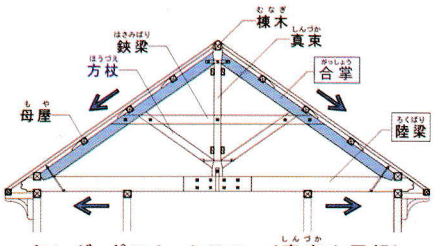
（本対談の全文は病院ホームページで公開しています）
https://www.karuizawahospital.jp

高齢者の交通事故防止対策の一環として、運転免許証を自主返納された方へ支援事業を行っています。

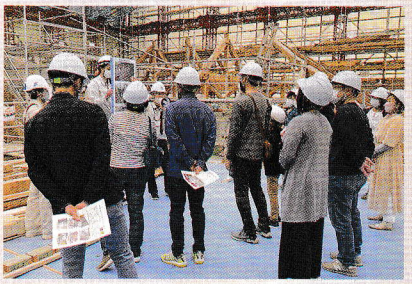
重要文化財・旧三笠ホテル 工事現場見学会を開催しました

6月18日に旧三笠ホテル工事現場見学会を開催し、多くの方にご参加いただきました。
見学会でご覧いただいた内容を一部紹介します。





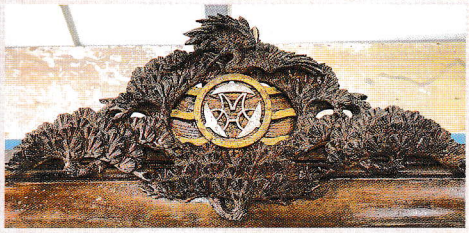
キング ポスト トラス （真束小屋組）



三笠ホテルの中央廊下の屋根を支える骨組み（小屋組）には「キング ポスト トラス」が使われています。「キング ポスト トラス」とは、幕末に西洋より伝えられた小屋組の一つで、横材と縦材と斜材を用いて三角形（トラス）を形成しています。この小屋組は、屋根の重みを屋根面と「合掌」で受け、足元を繋ぐ「陸梁」に力を伝えて屋根を支えています。

メリットは、部材の断面を小さくできることと幅が大きい建物に対応しやすいことです。デメリットは、接合部が複雑になりやすく、ボルトや金物を使って補強する必要があります。

※画像提供（左・中央）：(公財)文化財建造物保存技術協会



答え：三笠マークの上の鎖の向きが違う

ダイニングルームに取付けられているカーテンボックスは、普段は間近で見ることが出来ない貴重なものです。

５つあるカーテンボックスは、三笠マークの周りに彫られた装飾がすべて異なります。左の写真もどこが異なるか見比べてみてください。

保存修理工事では、オリジナルの部材をできる限り残す必要があります。大工が試行錯誤しながら、少しでも多く残そうと丁寧に補修しています。

※本事業は国（文化庁）および長野県の補助金を受けて実施しています。

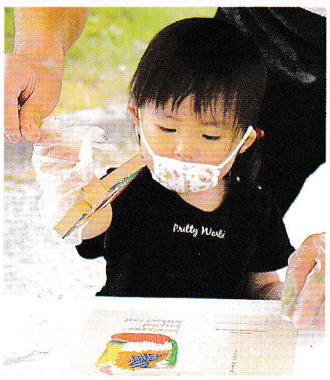
【問い合わせ】 生涯学習課　文化振興係　☎45-8695

軽井沢病院祭を開催しました

～karuizawa hospital festival without roof 2022～

軽井沢病院
おくすりてちょうに
関するページはこちら

6月26日　（軽井沢病院）



小さなお子さんから、お年寄りまで、43組121名の方が参加し、特製のスタンプや道具を活用して、みなさん楽しそうに「せかいに一つだけのおくすりてちょう」をつくりました。

※「おくすりてちょう」は８月いっぱい院内に展示しています。